



知っていますか？

ギャンブル等依存症

ギャンブル等依存症とは

一般的にタバコ、アルコール、薬物、ギャンブルやゲームなどを「やめたくてもやめられない」状態のことを「依存症」といいます。

公営競技(競馬、競輪、オートレース、競艇)、パチンコ遊技などのギャンブル等にのめり込んでしまい、日々の生活や健康を害するだけではなく、犯罪に至る人もいるなど社会的な問題となっています。

また、近年、オンラインカジノも社会的な問題となっています。日本国内では、年齢を問わずオンラインカジノを行うことは犯罪です。

依存症は誰でもなる可能性がある

ギャンブルやゲームなどの依存症は、開始年齢が早いほど「依存症」に陥りやすく、借金を抱える人が多いと言われています。

オンラインゲーム等で課金して、アイテム等を獲得する「ガチャ」は、ギャンブル等と同じように偶然によって利益を得ることができる度合いが高く、ギャンブルにつながる危険性があるので、注意が必要です。

● ギャンブル等 開始年齢(平均)	19.5歳
● 借金総額(平均)	約570万円

※ 2013年3月～6月の(独)国立病院機構久里浜医療センターでの調査結果

ギャンブル等依存症による 様々な影響

- 健康への影響
- 家庭への影響
- 日常生活への影響
- 友人関係への影響

ギャンブル等に のめり込まないために

- 適切な生活習慣
- ストレスへの対処
- スマホの適正利用
- 専門機関への相談
(保健所や精神保健福祉センターなど)

